

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年2月21日 (2013.2.21)

【公開番号】特開2011-125864(P2011-125864A)

【公開日】平成23年6月30日 (2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2011-27888(P2011-27888)

【国際特許分類】

B 0 1 J 13/08 (2006.01)

A 0 1 N 25/28 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 13/02 F

A 0 1 N 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月8日 (2013.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

再生セルロースにカプセル封入された活性物質であって、該再生セルロースにカプセル封入された活性物質は、再生セルロースのマトリックス内に実質的に均一に分布する活性物質を含み、該再生セルロースは、(i) 該再生セルロースが調製される元のセルロースと実質的に同じ分子量を有し、(i i) 出発セルロースに対して増加した量の置換基を実質的に含まず、そして(i i i) 捕捉されたイオン性液体分解生成物を実質的に含まず、該再生セルロースは、親水性イオン性液体から再生される、再生セルロースにカプセル封入された活性物質。

【請求項 2】

活性物質に対するセルロースの重量比は、1 0 0 0 : 1 ~ 1 : 2 である、請求項 1 に記載の再生セルロースにカプセル封入された活性物質。

【請求項 3】

前記活性物質は、微生物細胞、除草剤、殺虫剤、殺真菌剤、殺菌剤、動物または昆虫用の忌避剤、植物成長調節因子、肥料、香気組成物または臭気組成物、触媒、酵素、光活性剤、指示薬、染料、および UV 吸収剤からなる群より選択される、請求項 1 に記載の再生セルロースにカプセル封入された活性物質。

【請求項 4】

前記活性物質が、前記再生セルロースマトリックス内で疎水性イオン性液体によりコーティングされている、請求項 1 に記載の再生セルロースにカプセル封入された活性物質。

【請求項 5】

再生セルロースにカプセル封入された活性物質であって、該再生セルロースにカプセル封入された活性物質は、再生セルロースのマトリックス内に実質的に均一に分布する、疎水性イオン性液体でコーティングされた活性物質を含み、該再生セルロースは、(i) 該再生セルロースが調製される元のセルロースと実質的に同じ分子量を有し、(i i) 出発セルロースに対して増加した量の置換基を実質的に含まず、そして(i i i) 捕捉されたイオン性液体分解生成物を実質的に含まず、該再生セルロースは、親水性イオン性液体から再生される、再生セルロースにカプセル封入された活性物質。